

イチョウゴケ

Tritomaria exsecta (Schmidel) Loeske

兵庫県ランク… A

環境省ランク… —

■ 県内分布

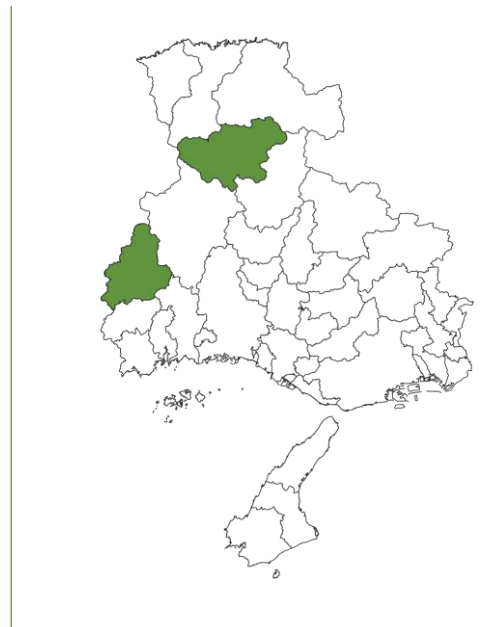
佐用町、養父市

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	○
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

以前記録のあった佐用町では、生育を確認できなかった。2020年版でBランクからAランクに変更した。旧和名イチョウウロコゴケ。

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

植物体は褐色をおびる。茎は長さ1.5cm、葉はほぼ横につき、斜めに開出して強く背側に偏向し、やや重なり、槌状、長さが幅よりも長く、不等に(2-)3裂する。裂片は腹側が著しく大きく、鋭頭。葉身細胞は厚壁、トリゴンは小さく、表面にベルカがある。油体は各細胞に3-5個、ほぼ球形、微粒の集合。無性芽は1-2細胞からなり、赤色で目だつ。亜高山帯以上の倒木や腐植土上に生育する。